

Ⅲ まちづくりについての「市民の声」

Ⅲ－１ 市民意識調査・大学生意識調査結果の概要

(1) 調査の目的

本調査は、市民及び大学生に対し、生活の現状、行政に対する要望、意識等を的確に把握し、今後のまちづくりに資するとともに、「習志野市後期基本計画」に向けての基礎資料を作成することを目的として実施しました。

<調査方法>

〔市民意識調査〕 調査期間：平成 30 年 10 月 29 日～11 月 12 日（15 日間）

- ・調査票は郵送送付、郵送回収並びにインターネット回答を可能としました。
- ・送付先は、住民基本台帳からの無作為抽出により選出しました。

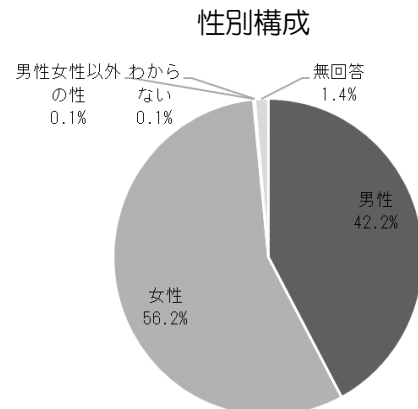
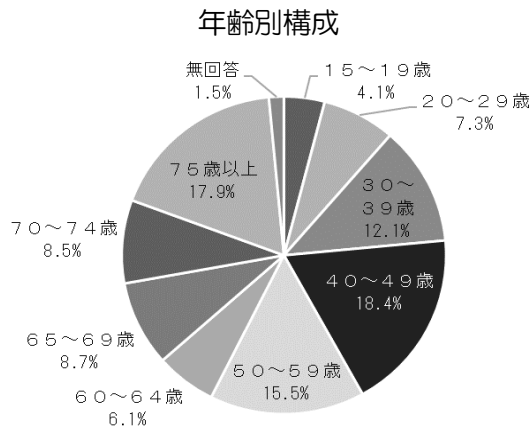
〔大学生意識調査〕 調査期間：平成 30 年 11 月～12 月

- ・各大学（東邦大学、千葉工業大学、日本大学生産工学部）を通じて調査票（各大学 500 票）の配布、回収を行いました。

<回収状況>

調査名		配布数	回答者	回収数		回収率	前回 (H27)
1	市民意識調査 (郵送回収分)	5,000 票	市内在住者	2,224 票	2,489 票	49.8%	38.5%
2	市民意識調査 (インターネット回収分)		市内在住者	265 票			
3	大学生意識調査	1,500 票	在学生	959 票		63.9%	84.2%

<市民意識調査回答者の基本属性分布>

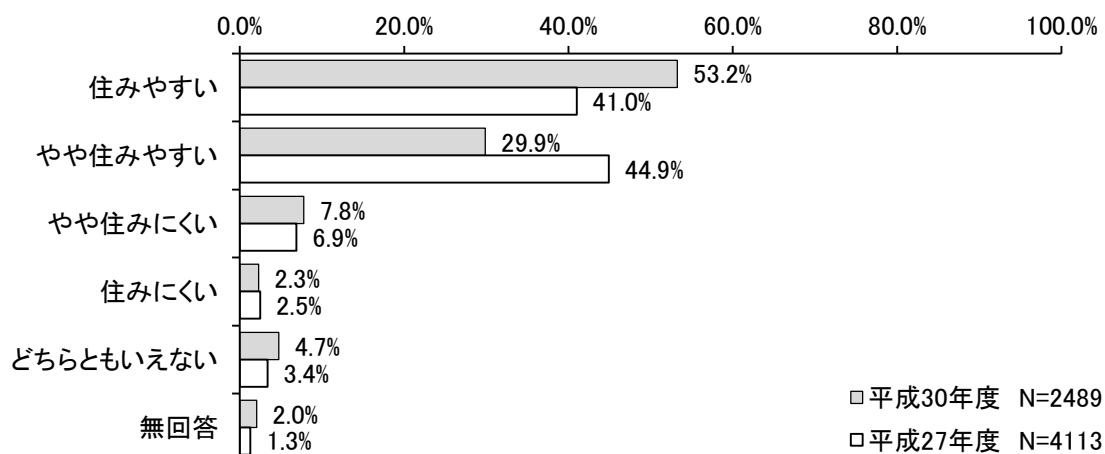


(2) 市民意識調査結果の概要

1) 住みよさと定住意向について

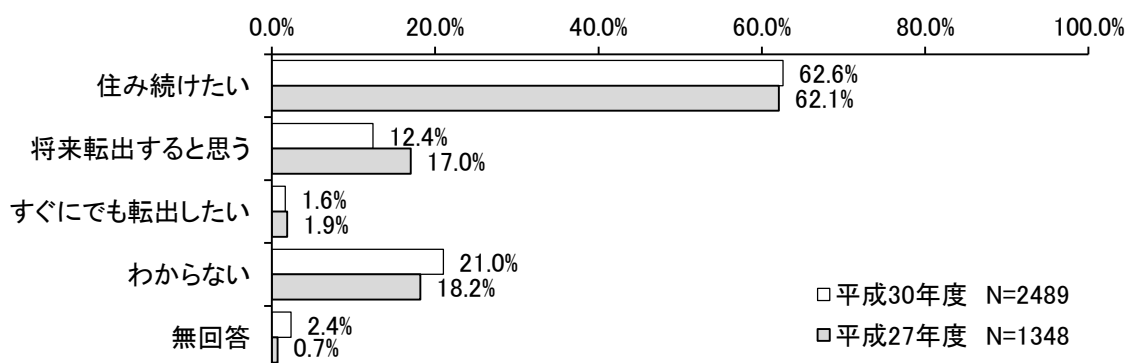
あなたが現在お住まいの場所は、住みやすいと感じますか。(1つだけに○)

前回と比較すると、「住みやすい」が 12.2 ポイント増加した一方、「やや（前回まあ）住みやすい」が 15 ポイント減少しています。



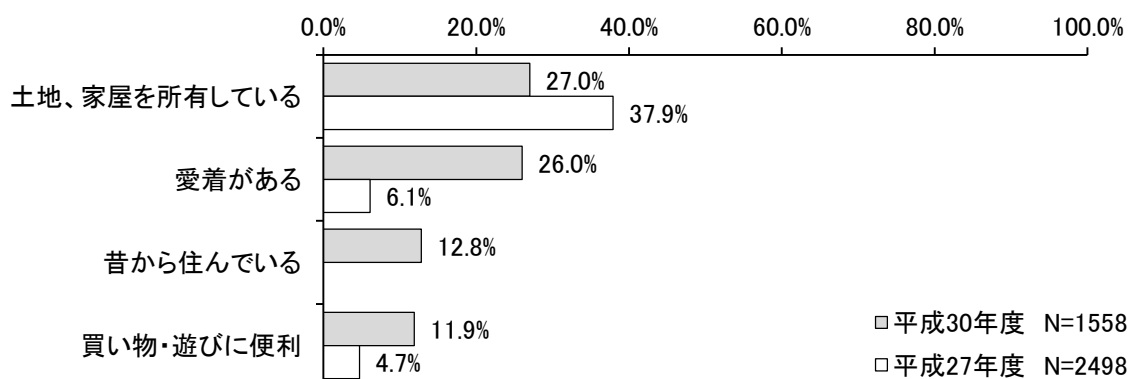
あなたは、今後も現在お住まいの場所に住み続けたいと思いますか。(1つだけに○)

「住み続けたい」が最も多く 62.6%、次いで「わからない」が 21.0%、「将来転出すると思う」が 12.4%となっています。



住み続けたいと思う理由は何ですか。(1つだけに○) ※上位4位まで

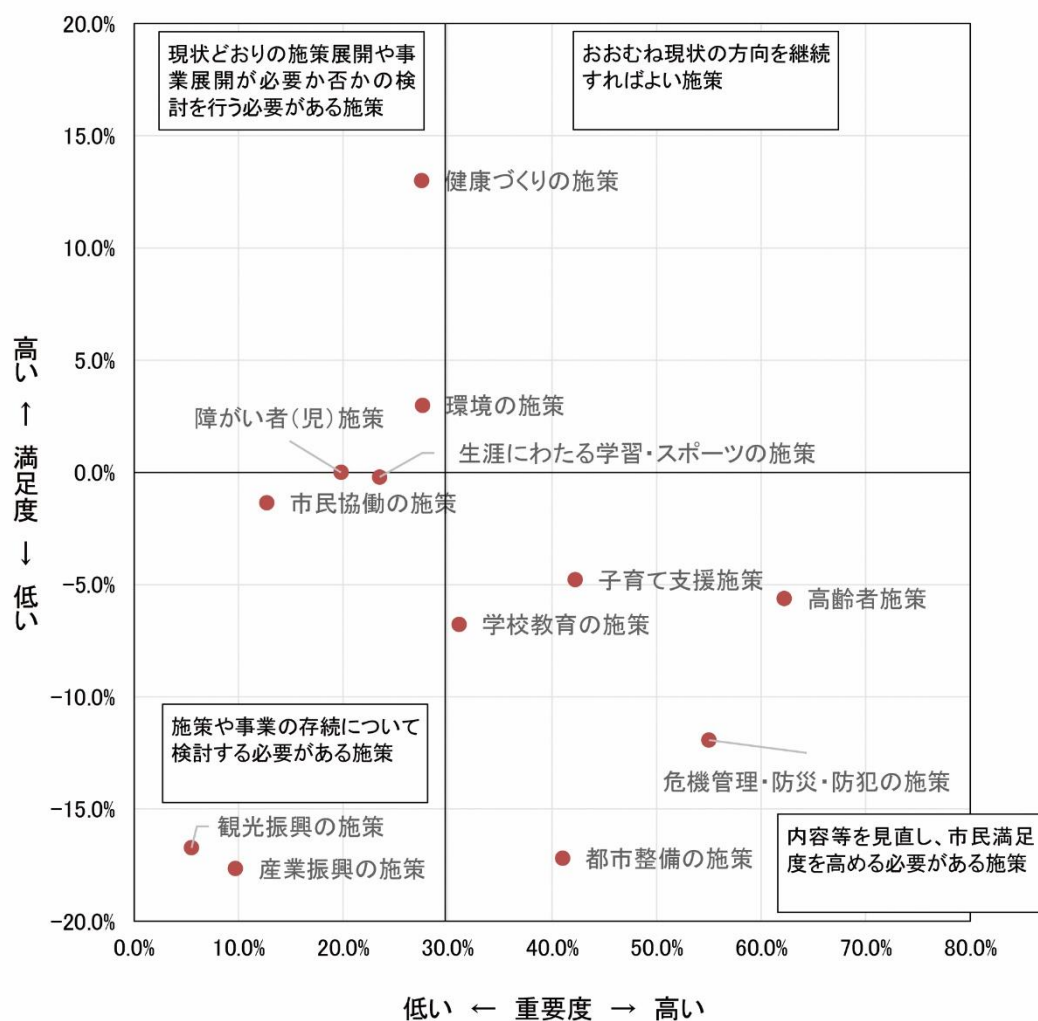
前回調査と比較すると、「愛着がある」が 19.9 ポイントと大きく増加しています。



2) 施策の重要度と満足度

施策に対する重要度と満足度についての問いに対する結果を散布図で示しました。
このことから、各施策の課題解決の方向性を確認しました。

【全 体】



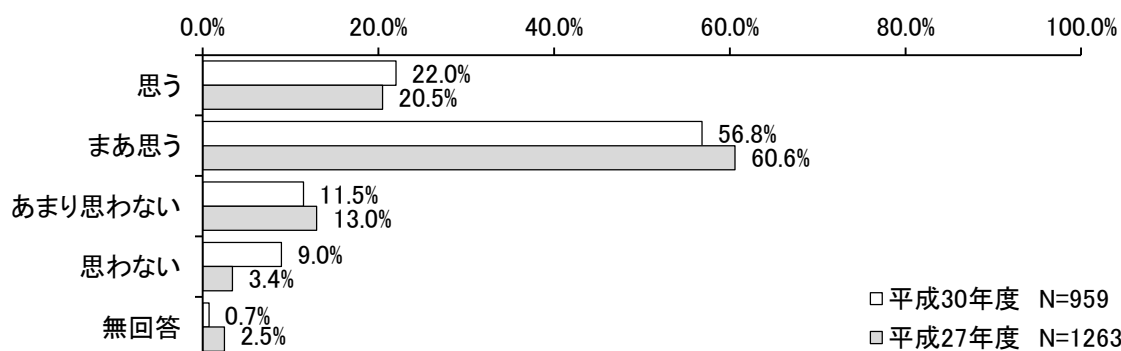
【満足度：低 重要度：高】 ※内容を見直し、市民満足度を高める必要がある施策

重要度は高いものの満足度が低い施策は、「高齢者施策」「危機管理・防災・防犯の施策」
「子育て支援施策」「都市整備の施策」「学校教育の施策」の5分野となります。

(3) 大学生意識調査結果の概要

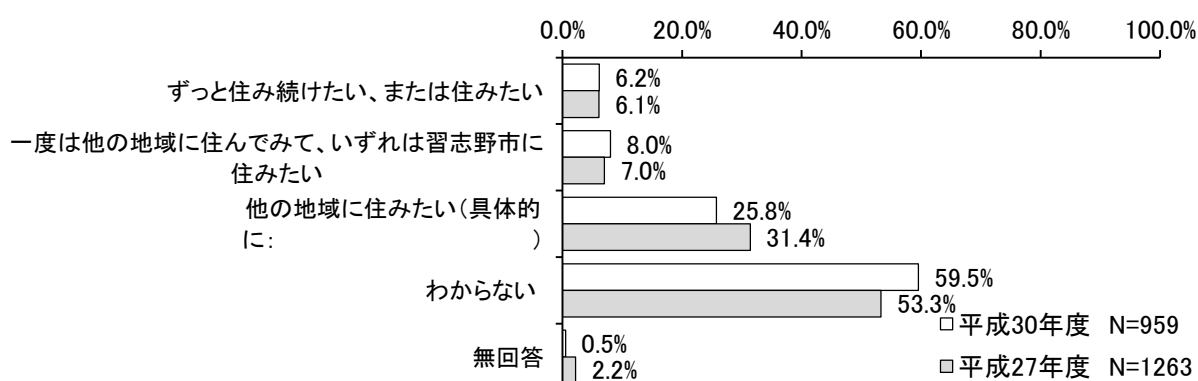
習志野市は大学生活を送るうえで、過ごしやすいまちだと思いますか。(1つだけに○)

習志野市は大学生活を送るうえで、過ごしやすいまちだと思う人(「思う」+「まあ思う」)は78.8%となっています。



習志野市に住みたい・住み続けたいと思いますか。(1つだけに○)

「ずっと住み続けたい」が6.2%、「一度は他の地域に住んでみて、いずれは習志野市に住みたい」が8.0%、「他の地域に住みたい」が25.8%となっています。



習志野市に住み続けたい理由(上位3位)

「交通が便利」が50.7%と最も高く、次いで「買い物などの日常生活が便利」49.3%、「家賃が適当である」が21.3%となっています。

